文章検

2023年度

文章読解・作成能力検定

4級D　検定問題

検定日：2024年2月11日(日)
検定時間：60分
開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。

＜注意事項＞

■受検について

1. 氏名、生年月日、会場名（団体名)、会場番号を、答案用紙のそれぞれの欄に大きく、ていねいに、はっきりと書いてください。
2. 検定開始後に問題冊子を開いて、問題の印刷が不鮮明な部分や、ページの落丁・乱丁などがあれば、手を挙げて監督(かんとく)者に知らせてください。
3. 問題冊子の余白は自由に利用してください。

■解答について

1. 答えはすべて答案用紙の解答欄に、ＨＢ以上の濃い鉛筆、またはシャープペンシルで記入またはマークしてください（ボールペンや万年筆などは使わないでください)。
2. マークはきれいにぬりつぶしてください。間違ってマークしたものは、鉛筆の黒いあとが残らないように消しゴムできれいに消してください。
3. 選択(せんたく)式問題では、問題文で指定された数だけ解答欄の記号をマークしてください。マークの数が指定された数と異なる場合は、採点の対象となりません。
4. 記述式問題で解答の行数が指定されているとき、行数が不足した場合または行数を超(こ)えた場合は、採点の対象となりません。
5. 答案用紙を破ったり、汚したりしないでください。
6. 提出する前に消しゴムのカスが残らないように払ってください。

漢検　公益財団法人 日本漢字能力検定協会　［不許複製］

年　組　番	
	氏名

第1問　次の問い（問1・問2）に答えなさい。　（40点）

問1　次の1～5のそれぞれの文で、（　　）内に示されたア～ウのうちから、意味の上でも用法の上でも最も適切なものを一つずつ選びなさい。

1　相手チームの選手は初心者ばかりだったにもかかわらず、うかつにも（ア　油断　　イ　不覚　　ウ　大事）をとり、逆転を許してしまった。

2　私の弟は、夏の間しばらく体調をくずしていたが、ようやく回復の（ア　前ぶれ　　イ　きざし　　ウ　なごり）が見えてきた。

3　災害にそなえて、食料品を（ア　ストック　　イ　コレクション　　ウ　スペア）しておくことは大切だ。

4　きょうは朝からくもりがちな天気だったが、とうとう（ア　ぱらぱらと　　イ　はらはらと　　ウ　ちらほらと）雨が降ってきた。

5　妹が私のおやつをこっそり食べたようなので、ためしに「口に食べかすがついているよ」と（ア　山をはって　　イ　かまをかけて　　ウ　色をつけて）みたら、妹はあっさり謝った。

問2　次の1～5のそれぞれに、意味の上でも用法の上でも正しいものが続くように、最も適切なものを、ア～ウのうちから一つずつ選びなさい。

1　人工知能で制御されているおもちゃのロボットが、まるで生き物のような

ア　なめらかな動きをするので、見とれてしまった。
イ　こまかく動いて、子どもたちは歓声をあげた。
ウ　いまにも動こうとしているかのようだった。

2　せっかく買ったコンサートのチケットが

ア　どこを探してもみつからず、あせった。
イ　いつの間にかなくしてしまい、くやしかった。
ウ　簡単に友だちにあげてしまわなければよかった。

3　みかんをあまりにも次から次へと口に放り込んだので、のどに

ア　詰まらせてしまった。
イ　詰まられてしまった。
ウ　詰まらさせてしまった。

4　卒業祝いに祖母からもらったさいふが

ア　この上なく心がこもっていたのだろう。

イ　使うときには、いつも祖母を思い出す。

ウ　とてもお気に入りで、いまでも私の宝物だ。

5　いよいよ2年後に、この町の歴史上最大の

ア　スポーツ大会を開くのが中止された。

イ　スポーツ大会が開かれる。

ウ　スポーツ大会を開いていた。

第2問　次の図1と図2は、ある文具店において、スケジュール帳の月別販売数が10年間でどのように変化したかを示したものです。これを見て、後の問い（問1・問2）に答えなさい。　（20点）

図1　スケジュール帳の販売数〔2009年7月～2010年6月〕

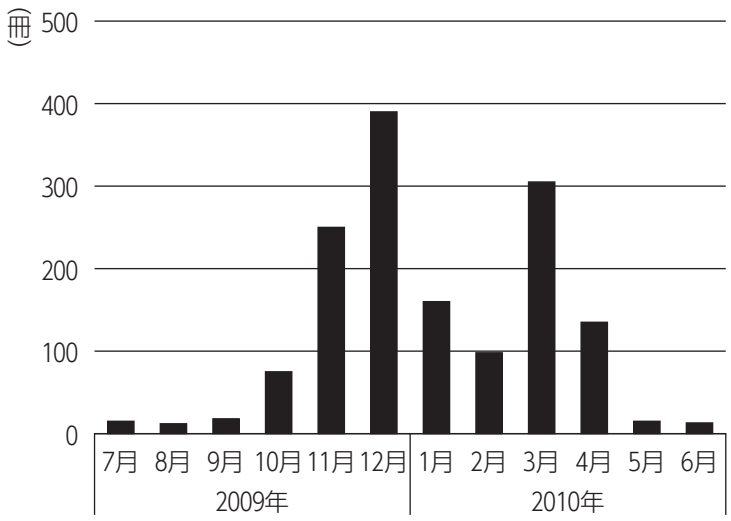
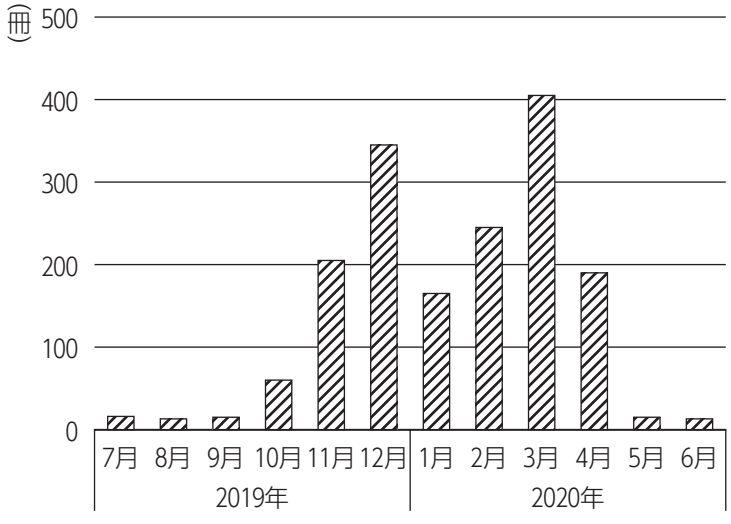


図2　スケジュール帳の販売数〔2019年7月～2020年6月〕



問1　図から読み取れることとして正しいものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　どちらの図にも販売数が約400冊の月がある。
イ　どちらの図でも7月から9月まではスケジュール帳を使う人が少数である。
ウ　昔は春期の販売数が最も多く、近年は冬期の販売数が最も多い。
エ　販売数が最も増えるのは、2009年11月から12月にかけてである。

問2　次は図について説明した文章の一部です。空欄①・②に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

図1でも図2でも販売数が多くなる時期として、［　①　］の2つの山が認められる。前者の山の時期では新年から使うために1月始まりのスケジュール帳を買い、後者の山の時期では新年度から使うために4月始まりのスケジュール帳を買っていると思われる。また、図1と図2では、それぞれ2つの山の高さの大小が逆になっている。このことから、10年の間に販売数の最も多いスケジュール帳の種類が［　②　］と変化したことが推測できる。

ア　①1月中心と4月中心　②1月始まりから4月始まりへ
イ　①12月中心と3月中心　②1月始まりから4月始まりへ
ウ　①1月中心と4月中心　②4月始まりから1月始まりへ
エ　①12月中心と3月中心　②4月始まりから1月始まりへ

第3問　次の文章を読んで、後の問い（問1～問4）に答えなさい。　（40点）

子供のころ、ピーマンや酢の物がきらいだった。コーヒーやヨーグルトも砂糖を入れて甘くしなければ口をつけられなかった。［　①　］、成長するにつれどれも平気になり、今ではどうしてあんなにきらいだったのかと不思議に思う。気になって周りにも聞いてみると、どうやら苦いものやすっぱいものをきらう子供は多いらしい。［　②　］、なぜそうなのか理由を調べてみた。【段落A】

まず一つは、本能的に身を守ろうとしているためだという。私たちがふだん食べる料理には苦味や酸味が加わっておいしくなるものも少なくない。だが、自然界において、苦さは毒のあることを示すシグナルとなり、すっぱさは腐っていることを示すシグナルとなる。そうしたものを食べると命にかかわるため、まだ抵抗力の小さい子供はそれらを体に入れてしまわないよう、本能的に苦味や酸味を避けるのだ。さらにもう一つ、子供は大人に比べて味覚が鋭いという理由もあるようだ。命の危機にかかわる苦味や酸味をより強く感じてしまうため、なおさらそれらの味を避けるのだという。【段落B】

そう考えると、大人になってそれらが平気になるメカニズムも推測できる。まずは経験を重ねることにより、その食べ物に苦味や酸味があっても体に害があるわけではなく、食べて大丈夫だと学習するからだ。さらに、［　③　］、そうした味を受け入れやすくなると考えられる。【段落C】

問1　空欄①・②に当てはまる語の組み合わせとして最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　①しかし　②つまり　　イ　①また　②ただし　　ウ　①だから　②そのため　　エ　①だが　②そこで

問2　傍線部「なおさら」が示す意味の説明として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

ア　ただでさえ毒や腐敗のシグナルを本能的に避けるのに、そのうえさらに
イ　大人でも毒のあるものや腐ったものを避けるのに、それにもまして
ウ　命の危機においても苦味や酸味を避けるのに、ふだんであっても

問3　段落A・段落Bの関係の説明として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

ア　段落Aで筆者の主張とその理由を示し、段落Bでその理由を解説している。
イ　段落Aで筆者が疑問に感じる事柄を示し、段落Bでその疑問に対する答えを述べている。
ウ　段落Aで筆者の経験した具体例を示し、段落Bでその具体例を一般化している。

問4　空欄③に当てはまる内容として最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

ア　大人になると味覚が変わって、苦味や酸味の加わった料理をおいしく感じるようになり
イ　子供よりも大人の方が抵抗力が強く、仮に毒のあるものや腐ったものを食べても危険が少なくなり
ウ　子供のころに比べて味覚が鈍るため、苦味や酸味の刺激を感じにくくなり

第4問　次は、中学生の前田勇二さんが、入院中にお見舞いにきてくれたおばの渡辺やよいさんにあてて書いたお礼の手紙です。これを読んで、後の問い（問1～問4）に答えなさい。　（40点）

拝啓

暑い日が続きますが、お変わりありませんか。私は先週無事に退院し、今は自宅で過ごしています。骨折した左足にはまだギプスがはめられていますが、痛みはすっかりなくなりました。

入院中はお見舞いに①来てくれて、ありがとうございました。

A

回復が早いのも、若さだけではなくおばさんの②はげましのせいです。今回の入院で、健康の大切さを改めて感じました。まだ残暑は厳しいですが、どうかお体を大切になさってください。

敬具

八月三十日

前田勇二

③

問1　傍線部①を敬語の形にするとき最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　来て差し上げて
イ　参ってくださって
ウ　来てくださって
エ　参っていただいて

問2　傍線部②は不適切な表現です。修正した表現として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　はげましの結果です
イ　はげましのためです
ウ　はげましの名残です
エ　はげましのおかげです

問3　空欄③に入る語句として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　渡辺やよい様
イ　おばさま
ウ　親愛なるやよい様
エ　おばさんへ

問4　文中の空欄Aに入る文章を、次のメモ書きの内容を入れて作成しなさい。ただし、後の条件1～4に合わせなさい。

（1）左足が折れてると病院で聞いた時は、目の前が真っ暗になった。
（2）おばさんの「若いから、すぐ治る」という言葉に安心した。
（3）先生の話では、来週にはギプスが外れ、歩く練習ができるということだ。

条件1　順序は（1）→（2）→（3）にすること。
条件2　（1）（2）（3）のつながり具合に注意して、必要ならつなぎの言葉を補ったり言いかえたりすること。
条件3　表現は手紙の文章にふさわしいものにすること。
条件4　1行25字のマス目に縦書きで、必ず3行以上、5行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭にきたときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注意　行数が不足した場合、または超えた場合は採点の対象となりません。

●下書き用

5　3

第5問　木工工作や手芸などの作品を作るとき、必要な材料がセットされた「キット」で作ることもあれば、材料を一つずつそろえて作ることもあります。これについて、作品を作るとき「キットを使用する方がよい」という意見と「キットを使用するのはよくない」という意見があります。どちらかの立場に立って、意見文を書きなさい。次の条件を守ること。　（60点）

条件1　意見文は、次の順番で二つの段落に分けて書くこと。

第1段落　**出来事・体験・知識を述べる。**

「作品を作るときの材料のそろえ方」について、あなたの意見を支える出来事・体験・知識を述べる。

第2段落　**意見を述べる。**

作品を作るとき「キットを使用する方がよい」か「キットを使用するのはよくない」のどちらか、意見を明確に述べる。

条件2　1行25字のマス目に縦書きで、必ず10行以上、16行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭にきたときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注意　行数が不足した場合、または行数を超えた場合は採点の対象となりません。

●下書き用

16　　10

検定日・検定を行う時間・問題回収などについて公正でないと
思われる点がありましたら、当協会までお知らせください。

電話番号：０１２０－５０９－３１５(無料)
受付時間：月～金　9：00 ～ 17：00
（検定日とその前日の土・日は受け付けています）